

## 2017 年度 植林報告





**Tri-Wall Ecoffin Forest**  
 トライウォール『エコフィン生命の森』

This tree-planting project is the key elements of Tri-Wall Bitmap Group's Social Contribution Programs through global environmental conservation activities with the support of GNC. この植林事業は、トライウォールジャパン株式会社、ウィルライフ株式会社及び全国葬儀社の皆様のご協力により、環境社会貢献活動のために、GNC の協力を得て行われたものです。

2017年5月植林 9ha 21800本








**日・モ友好の森**  
 Я п о н Монголын найрамдлын ой

2017年5月植林 2ha アカマツ 5000本  
 2017 оны 5 сард 2га газар 5000 царс гарив




Номуун Төрөл ХХК

以下のように、植林作業を実施したことを報告します。

### 1. 植林作業実施概況

植林 実施日	春季	植林作業・・・・・・・・・・5月3日～12日 新規植林地 約 20.0ha 新植林本数 50,775本
植林場所	モンゴル国セレンゲ県 アルタンボラグ村ゴロワンツァガントルゴイ周辺	
樹種	ヨーロッパアカマツ <i>Pinus sylvestris</i> (在来種) の2年生苗	
植林作業	ジャムスレン (GNC Mongolia 現地相談役) オグナー (GNC Mongolia スタッフ) サラ (GNC Mongolia スタッフ) アルタンボラグ村及びボゴント村の村民など	

## 2. 2017 年植林地の概況報告

今年の植林地は昨年の植林地に隣接する場所で、国境の町アルタンボラグ村より約 60km 東方に位置し、植林地周辺では畑作地が隣接しているものの、家畜の放牧は全く行われておらず、住民も居住していない場所である。植林地周辺はもともと林であったが 2009 年 6 月の林野火災や伐採により草地化が徐々に進んでいた。現在は行政主導のもと、村役場や森林組合がパトロールを行い、不法伐採を防ぎ、火災の早期発見・初期消火活動を行っている。

昨年同様、雪解けの時期に合わせ 5 月 3 日から植林を行った。モンゴルでは農業と同様に植林の時期もこの雪解けから 2 週間の間に限られるため、タイミングを逃すと苗が良く育たない。また同時に昨年度の植林の再植林も実施した。

苗木は昨年と同様に、ボゴントから良質の苗木を輸送した。使用したのは 40cm の 2 年生アカマツ苗である。草や岩が多く、植林前に草を抜き、岩をどかしながら掘って植え付けを行った。二人一組で効率よく植林作業を行った。植生はイネ科やキク科の下層植生が密生している。土壌は砂質壤土で保水性が良好だった。

2017 年は例をみないほどの深刻な干ばつの影響により、モンゴルの国の農作物も 20~30%が育たなかった。そんな中でも、この植林地では苗がよく育っていた。活着率は 90%で良好であった。昨年の成功例をもとに、日陰になる場所に植えるなど、溝の中での植林位置を徹底していた点も大きかったようだ。

セレンゲ県でのこれまでの植林の実績を、森林組合や現地の方々に認めてもらえ、スムーズに作業が行えた。モンゴルのスタッフが素直で真面目、誠実な人柄であるため、受け入れられたからである。

今年度の植林密度は 2500 本/ha、春季植林において予定していた 20.0ha の植林が全て完了したことを報告する。

3. 植林時の写真



作業期間に宿泊するゲルの組立て



遠景



遠景



植林作業



#### 4. 定点観測調査

植林地内においてランダムに調査定点を2カ所設定し、次の項目について調査を実施した。定期的に同様の調査を実施し、植林地としての変遷を追跡していくこととする。

##### 成長把握調査

苗木の成長を把握するため、各定点で5本の苗木を試料木とし樹高測定・写真撮影。定点 St. 1 での調査結果は以下の通りである。

